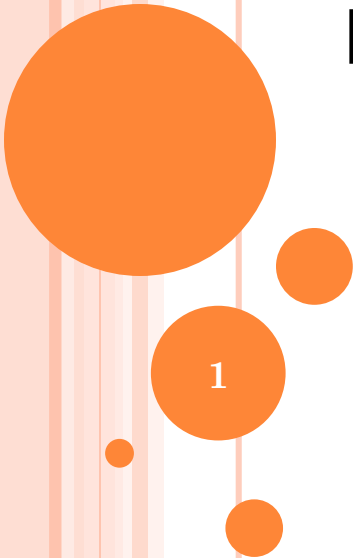


高等部卒業後の 進路決定までの流れ



1

高等部卒業後の進路

障害者手帳を利用



就職



福祉的就労

企業

障害者雇用枠での就労

福祉施設

障害福祉サービスを利用



自立した生活へ

進路決定までの流れ



進路相談・進路希望調査



進路先開拓



現場実習（計4～5回）



現場実習を基に採用・利用についての確認



入社・利用開始

進路関係の主な行事

学年	実施月	進路の行事	進路決定
1年	5月 6月 8月 9月 10月 1月	進路情報ガイダンス 校内実習① 福祉施設説明会 職場見学、職業ガイダンス 校内実習② 校内実習③	・現場実習が始まるまでにある程度の進路の方向性（希望する企業や福祉施設等）を決めておくの良いと思います。 ・現場実習①②（③）で絞り込みを行います。 ・現場実習（③）④で卒業後の進路先で実習を行えるようにしましょう。
2年	5月 6月 7月 8月 9月 10月 1月	進路情報ガイダンス 校内実習④ 進路相談会（就労） 福祉施設説明会 職場見学、職業ガイダンス 現場実習① 現場実習②	
3年	6月 7月 8月 10月 1月	現場実習③ 進路相談会（就労、福祉） 福祉施設説明会 現場実習④ 現場実習（就労）⑤	

進路を決めるにあたって（一般就労）

チェック項目（特に重視される項目）

日常生活面の確立	している	していない	不明
健康、体調管理	できる	できない	不明
挨拶、返事、報告、質問	できる	できない	不明
1日6時間程度働ける体力	ある	ない	不明
就労に関する意識、意欲	ある	ない	不明
自力通勤	できる	できない	不明

※一般就労のチェック項目で「できない」や「不明」が多い場合は、就職後に長く働き続けるためにも就労に向けて訓練をした方が良い

※評価をする場合は、能力の最大値ではなく、平均値で評価する。

進路を決めるにあたって（福祉施設）

チェック項目（施設を利用する目的）

支援を受けながら就労の訓練を受けたい	訓練系
余暇的な活動を通して、日常生活の充実を図りたい	介護系

訓練系	優先順位	本人・保護者の希望やニーズ（家庭の状況等をふまえて）				
		サービスの種類	就移	A型	B型	自訓
		仕事内容				
		事業所までの移動手段	施設	保護者		
		その他				

介護系	優先順位	本人・保護者の希望やニーズ（家庭の状況等をふまえて）		
		サービスの種類	生活介護	その他（

家庭で行ってほしいこと

- ①生活習慣を整える
- ②基本的なコミュニケーションスキルを習得する
- ③ルールや約束事を守る
- ④移動手段を確立する